

「孫育て・親育て、祖父母の役目とは」

9月15日(土)に多摩統合センターでくらしの見直し講演会を開催しました。講師は杉並区で長年子育て相談室を開いている井村禮子さんです。当日はあいにくの雨でしたが、祖父母世代、子育て世代が集まり、講師のお話に聞き入りました。

子どもは生まれたときからお母さんの幸せを願っていて、どんな行動にも理由があること。子どもを育てているのではなく子どもに育てられている、など長年の経験からお話しいただきました。祖父母の前でいい子なのは、お母さんを守っているのだとか。

おおらかに感情を表現できる子どもを育てるには、親も子も泣くことを我慢せず涙を流すことが大事である。そうして育った子どもは大人になってから自分の子どもを育てるときにも、感じる気持ちを丸ごと受け止めて子育てができるようになるそうです。登園拒否や不登校、大人になってからのイライラも、共感しねぎらってあげることでふっと力が抜けて解決に向かうというお話には、大人であれ子どもであれ口に出してほめたりねぎらったりすることが大切だということを感じました。

そして赤ちゃんから大人までどの年代も、家族のスキンシップが心を癒し、しっかりした心の芯が育てられるというお話で、多くの学びがありました。



これから孫が生まれるけれど、自分自身が育てられていると気が付きました。

これからの人生に元気をいただきました。

おとなりどうし、手当てをし合う

自分の子育て時代を思い出しました。健康に育ててくれて私は楽をさせてもらったと感謝です。

これからできる孫との接し方の参考になりました。